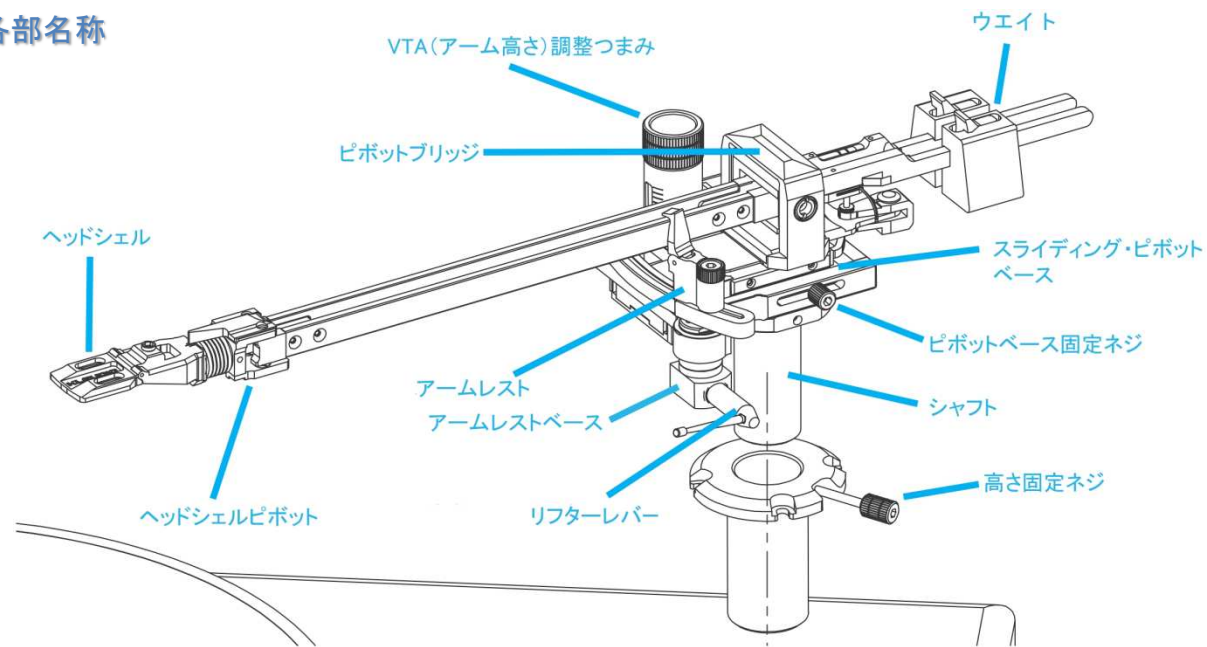


各部名称



自立型アームベース BAS-ARM01 (別売オプション)

アーム取付時において下記のような場合でも、様々なターンテーブルで KLAUDIO トーンアームをご使用いただけるようになります。BAS-ARM01 は単体で 2.8kg の重量をもちトーンアームを確実に保持します。アームベース本体は「POM (ポリオキシメチレン)」を使用しており高い耐摩耗性と強度を兼ね備え、内部損失の高い素材なため設置場所からの微細な振動をキャンセルします。

シャフトを収納するシリンダー部にはメッキ処理を施した真鍮を使用しています。



例えば

- ・アームボードに穴を開けることが不可能なターンテーブルをお使いの方
- ・ターンテーブルの適切な位置にアームボードを設置できない場合

※BAS-ARM01 においてトーンアームの取り付け高を調節可能です(80~130mm)。

Specifications

形式

スピンドル中心から取付位置中心

取り付け孔径

本体重量

付属品

ARM-MP12 / ARM-MP10

ピボット式リニアトラッキング・トーンアーム

ARM-MP12 : 298mm

ARM-MP10 : 250mm

29mm

820g

フライトケース、アライメントツール (設置治具)、サブウェイト、水準器、ヘッドシェル、カートリッジ取付用リードバー、リードワイヤー

BAS-ARM01

形式 自立型アームベース

重量 2.8kg

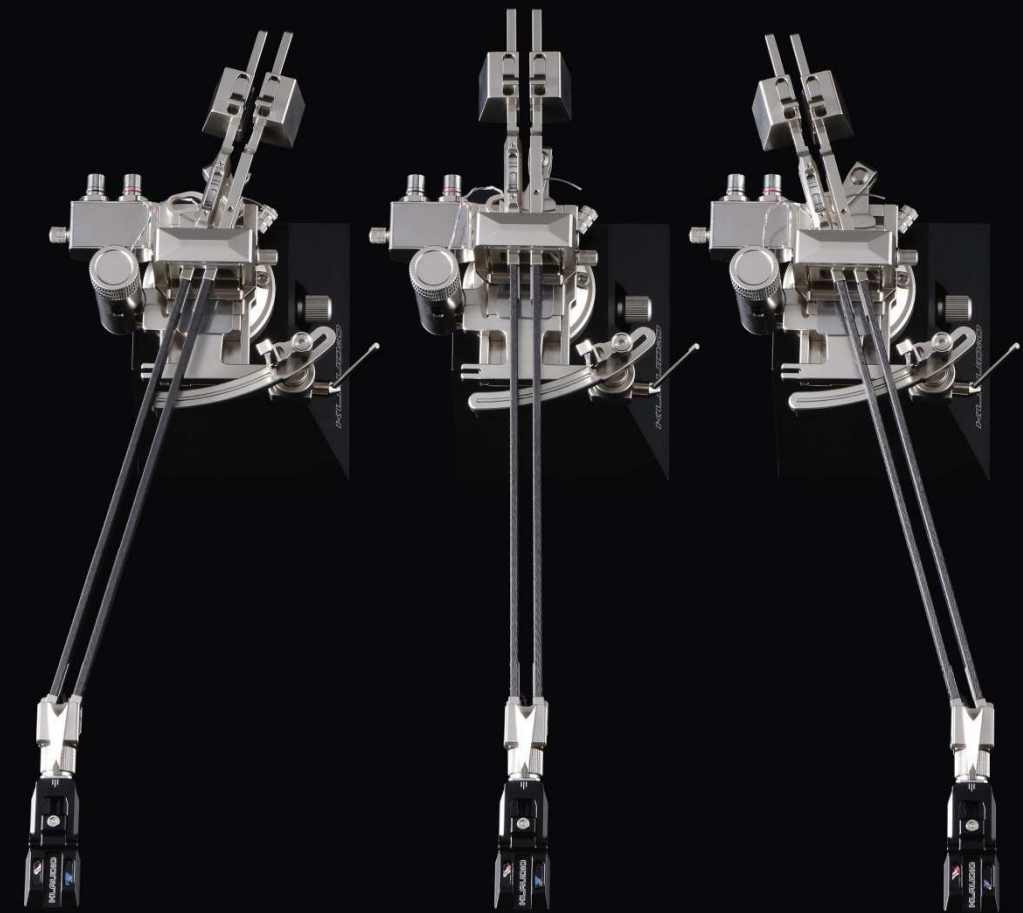
※別売オプション

ARM-MP12 / ARM-MP10

Pivoted linear tracking Tonearm

アナログ・トーンアームの理想形

ピボット式リニアトラッキング・アナログ・トーンアーム



ピボット式スイングアームでリニアトラッキング動作を実現するために、ARM-MP12 / MP10 では複数の極小ベアリングを装備しアームピボットベース自体がスムーズに稼働する機構 (特許出願中) を採用しています。またヘッドシェルを平行に移動させるため、もう一つのピボットをヘッドシェル結合部に設け 2 本のカーボンファイバーのバーがスムーズに動きます。これらの機構により動力を全く必要とせず、プラッターの回転運動へトレースする事だけで理想的なリニアトラッキング動作を実現しました。

究極な再生を目指した、ピボット式リニアトラッキング・トーンアーム ARM-MP12 / ARM-MP10

KLAUDI0 (クラウドイオ社/アメリカ) が開発したアナログ・トーンアーム ARM-MP12 / ARM-MP10 は、ピボット式・スイングアームでありながらリニアトラッキング動作という驚きの方式を実現した、画期的であり最も理想的なトーンアームです。

マスタリングされた音源が最初にラッカー盤に音溝を刻まれる際、レコードカッティングマシンは盤の外周から内周へ、リニアに音溝を刻みます。つまりカッティングと同様のトレースを再生時にも行うことで、最も理想的で正確なアナログ再生が可能とされています。

しかしながら従来のリニアトラッキング式アームでは電子制御モーター駆動・エアーポンプ・スライド式などを用いた複雑で繊細な製品が主流であったこと、ターンテーブルと一体になった専用設計であり製品選択の自由度がなかったこと、セッティングのわずかなズレによって大きなエラーを起こしてしまうという様々な問題がありました。

一方1ピボット式のスタティックバランス・トーンアームは、トーンアームの支点を中心にスイングし、針先が弧を描くようにレコード盤をトレースします。

音溝に対しアームのスイング角度に応じた角度のズレがトラッキングエラー角となり、正確に音溝をトレースすることができないので、いわゆる「オーバーハング・ポジショニング」と「オフセット角」を持たせて補正を行う事でトラッキングエラー率を抑えています。

KLAUDI0 のトーンアーム、ARM-MP12 / ARM-MP10 はリニアトラッキング式、1ピボット式それぞれのトーンアームのデメリットを解消し、両方式のメリットを有効に活かした革新的なトーンアームです。

リニアトラッキング方式でありながら従来モデルにありがちな取り付けや設定の複雑さを軽減し、1ピボット式トーンアームの特長である様々なターンテーブルへの設置の簡単さを併せ持つ、まさに究極の理想的方式と言えます。

開発に要する技術と時間を惜しげもなく注いだKLAUDI0 トーンアームは、レコード再生の理想を今まさに叶えます。

アーム部

軽量で剛性に優れた2本のカーボンファイバー製のアームは、10.5インチと12インチの2種類を用意し、組み合わせるターンテーブルやお好みにより選択することができます。また、ホールド性が高く非常に滑らかな動作を実現した専用設計のアームリフターが搭載されています。針圧方式は扱いやすいスタティックバランスを採用しています。

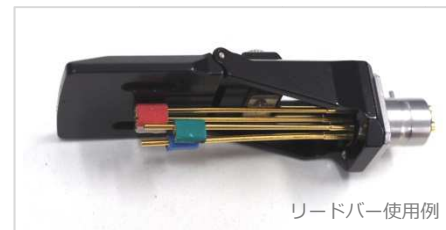


ヘッドシェル部

ヘッドシェル部支点部分に組み込まれたベアリングにより音溝に対してリニア状態を維持する機構ですが、ヘッドシェルそのものを動作させる仕組みではないため、ユニバーサルタイプの様々なヘッドシェルを取り付けることが可能です。



アジマスの目安になるゲージの付いたコネクタにより、ヘッドシェル接続時のわずかなズレを容易に確認できます。コネクタ部のねじ込み式接続部は精密に作られており、遊びの少ない確実な接続を実現します。純正ヘッドシェルと信号を正確に伝送するリードバー、および利便性の高い純正リードワイヤーが付属します。



リードバー使用例



リードワイヤー使用例

リニアトラッキング動作解説

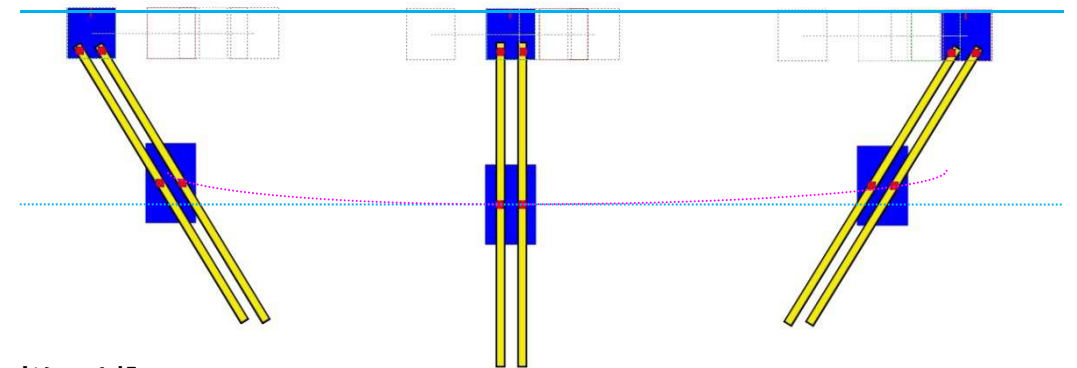
ピボットベースと同様に動作するピボットとヘッドシェル部ピボット (支点) が滑らかに連動した動作をすることで完璧なリニアトラッキングを実現しています。

レコード外周部～中央部

ピボットベースが後方に移動すると同様、ピボット自体も一体となり後方に移動します。

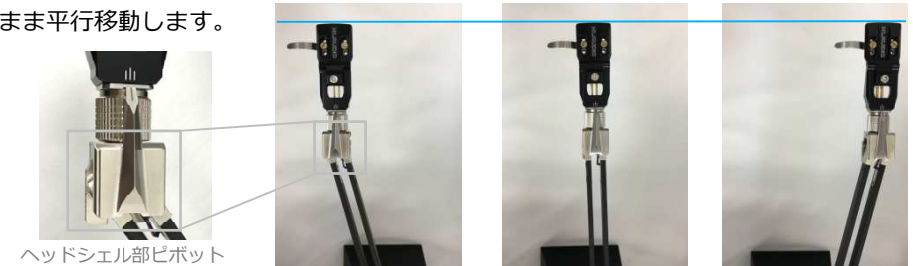
レコード内周部

ピボットベースが前方へ移動、ピボット自体も一体となり前へ移動します。



ヘッドシェル部

外周から内周に針先が移動するのに従い、滑らかなピボットを内蔵したヘッドシェルは音溝に対してリニア状態を維持したまま平行移動します。



ヘッドシェル部ピボット

ベース部

前後に動くピボットベースには精密な極小ベアリングが内蔵されており、滑らかで繊細な動作を可能としています。(特許出願中の技術)



充実のセッティング治具

本体の他、調整・セッティング用の工具などは全て特製フライトケースに収められています。

付属のセッティング用アライメントツールにより、ターンテーブルへの簡単で正確なセッティングが可能となっています。

